

ての結果であるが、實際には中々そんなことには行かぬ、傳導により輻射により對流により熱は、時々刻々に無益に逃げて居る、自分の見たところによれば、十月五日、外氣の溫度が二十度位のとき、午前十一時二分半から同四十四分迄即ち約四十分時の間に鎌は捨て置いた儘にして二百度から百度迄に冷却した。鎌は小さい程、割合の表面が廣く、從て早く冷却するのであるから、此方面をも併せ考ふるときは、實際には前に計算したる結果よりも、更に甚だしき相違を此二つの鎌の上に見るべきは推測が出來る。

鎌の大きさ不及ばず影響は他にある、即ち鎌が大なれば其纖維を押しつける強さが大である、又廣い面積に接するから、小き鎌と同じ速さに之を動かしても、或る一定の部分に鎌が觸れて居る時間は割合に長くなる。夫れ故に割合に速く動かしても同一の結果が得らると云ふことになる。但し鎌が大なるが爲めに生ずる結果は以上の如くよい事のみでもあるまい之等に就ては自分は長々と述べる必要がないと思ふから、今は之れで御免を蒙る。

裁縫科教授の教育的價値

安川 愛子 先生

抑裁縫科教授教育的價値たるや世人之を認めざるにあらざるも實際に於ては最容易にして十分思考力を働かしむる要なきの科として教師之に甘んじ生徒も亦同じくしか思惟せり従つて管理十分

ならず訓練上大に缺くる所ありきこれ必ずしも學科の性質上必然的の結果にあらずして大に教授者の責任に歸すべき所なり徒らに針を運はせ糸を通すも決して正確精巧なる成績を得たるものにあらず最初より布帛を正し一針毎に意を用ひ細心努力初めて一枚の衣服を整美端正に調製し得べきなり故に教師は之が十分の説明を試み生徒をして偶然的にあらずして必然的に善美なる成績を得るにつとめしむるを得ば如何にその興味を増し勤勉努力の結果は如何に的確に表はさるべきかを切實に味はしむるを得ん之該教科の生徒訓育上最重要視せざるべからざる所にして又實にその特典なりとす

特に從來の習慣上たゞへ教師の注意あるも猶該教科を重要視せざる傾向あるを以て一層生徒の性質の弱點は此處にあらはざるゝが故に之等弱點の矯正にあづかりて力ありといふべし近時之等の自覺は各教員の間に起るに至りし傾向あれどもなほ十分なる自覺を以て自ら任じて之に當らざる可からざるなり之抑教育ある人の技能教育に當らざるべからざる所以なるべし

他教科との關係

修身科にありて眞面目なるべきこと勤勉なるべきこと整頓すべきこと節約利用なるべきこと注意周到なるべき事など訓戒せられたる事は直ちに實行に顯はし得へくまたあらはし得らるゝを以て其關係は實に原理と應用となりて實にはなる可からざる關係を有す

高等女學校にありて特に裁縫科にて衣服に對する研究として教授せられざる限り歴史科にありては各時代の風俗より裝束の沿革につきて裁縫科に資すべき事項は必ず教授せられざるべからず地理科に於ては服地の種類產地價格などを學び博物學上には織物の各種原料につきて學び理化學にありては洗濯染色等の原理につきて學び裁ち方積り方は美術の應用せらるゝこと言を俟たず其他説明に要すべき圖は圖畫の援助を借らざるべからず就中家事科とは最密接の關係を有す以上述べたる如く其關係する處甚だ廣くして裁縫料獨關係なきの學科にあらず宜しく他學科との聯絡を保ちて互に裨益する所なかるべからず他教科との聯絡を保たしむる方法にして十分講究實行せらるゝにあらざれば等しく之を教授するも何等効果を見ざるべし而て其方法としては

一、教授細目を調製するに先ちて互に打合せをなすべきこと即教授せらるべき事項の分量及び時期など

二、他の教科書を閲讀すること

學校は閲讀に便ならしむるやう別に一部づつを備ふべきこと

三、時々他教科の教授を參觀して教授の實をすること

各教員はとかく各自の教科中に於てなるべく多くを教授せんとする傾向あり之等は却て重複の恐あれば宜しく隙を以て參觀し他教科に於て精しきは是に於てなるべく省略したゞ生徒の

記憶を換起するに止むべし

四、教授豫定進度表を作り各教科進度の状態を見るに便ならしむること

各教科に於て夫々豫定進度表を作成すべきは勿論各教科目全部の進度を一目に見らるゝやう一表を作成すべきこと

之等の方法は裁縫科に於てのみにあらず何れにも應用せらて最効果多かるべきものなり

教授の方法

教授は他教科と同じく一齋教授の方法によるべきは既に定まりたる論議なれども素より技藝の教授なれば純粹に此方法にのみ依るべからざるなり一齋教授に於ては五十人内外の比較的多數の生徒をして到底微細の點までも十分了解せしむるは困難なり勿論或は掛圖により標本によりて十分の説明を試むべきは當然の事なれども猶説明に苦しむ處或は技術の妙處に至りては容易に會得せしめ難かるべし

されば教授の補助者ありて机間巡視の際の如きよく教授者を補佐し以て一齋教授の陥るべき欠點を補はしむるを要す實際の縫方絣け方等布の扱ひ方につきては教師の示範を行ひ生徒をして耳よりと同時に目によりて會得せしむるやう務むるを可とすべし

なほ一齋教授によりて起るべき弊害欠點等蓋し多かるべきを以て大に救濟の方法を講せざる可か

らず例へば生徒の習熟不習熟の結果により大に遅速を生じ遅れたるものは更に教師の説明に耳をかすの餘裕乏しく從て順次に遅速の差生じ来るべし之らは如何にして救濟すべきか講究せざるべからず

教材の擇擇及び排列

大体に於て文部省の要目に準據すべく又土地の情況に應じて増減すべきこと最肝要なり教授要目に示されたる教材に對しては比較的教授時數乏しく到底一教材を反覆練習するの餘裕なかりき

然るに現今教授時數の餘裕を見るに至りたれば大に之が利用を怠るべからざるなり高等女學校の卒業者にして卒業後學校に於て教授せられたるのみを以て足れりとせず他の裁縫教法につき裁縫を專攻せんとするもの多きを見るこれ必ずしも學校に於ける裁縫教授を蔑視せられたるにあらずして實際の必要上止むべからざるに依ると雖もしかも學校に於て教授せられたる教材のすべてをして十分了解せられたるには普通衣服の裁縫にありては必ずしもかくの如き不安の狀態にあらざるべきを信ず是畢竟一教材につきて反覆練習することなく確實に其知識として受納せられざるものにして甚だ遺憾なる事なりとす一度教授せらるゝ以上は確實に各自の知識技能たるべく教授せられざるべからず故になるべく普通衣服の裁縫にて反覆練習を重ねみだりに程度高き衣

服の裁縫の爲めに普通衣服に疎かなる事なきやう大に意を用ひざるべからざるなり

運針の練習は初學年には時間の始毎に必ず行はしめ裁縫に於ける基本的技術の練磨を怠るべからざるなり而て此際十分針の持ち方運び方及姿勢等正さしめ且運び方を速ならしめ或は針目を正しくなさしむる等恰かも習字などの際姿勢運筆正しからざればなし得ざる如く基本技術の肝要なる事何れも異る事なし裁縫の順序方法を一定すべきは何人も疑ふ所なし然れども既に小學校に於て最困難を感するところなりとすこれには種々の原因あるべきも該教科の性質上數學或は物理などの如くある目的に達せんとする道程は決して一ならず其方法の千差萬別にして各自の經驗工夫に依る所少なからざれば従つて其順序方法の一一致し難きなり然れども既に小學校に於て國民教育の一教科として之を加へられ高等女學校に於ても亦重要教科なりとして課せられたる上は必ず一定したる順序方法によるべきものなるべからず然れども其上級生或は補習科等の生徒に對しては其順序方法を一定せざる可らず而して研究の結果一定せられたるものに對しては各教員一致協力して教授の効果をして全からしめざるべからず然れども其上級生或は補習科等の生徒に對しては其扱ふべき材料種類等に應じ種々なる方法を教授するは敢へて妨げなきのみならず却つて種々なる方法を辨へて之を適當に使用し以て應用自在ならしむる事亦一層肝要の事なりとす
裁縫用具の改良進歩に注意すべきこと亦裁縫改良の一手段たるべし用具の改良は重要な事にして

決して等閑に附すべからざるなり元來女子は保守的傾向あるを以て在來使用し來りたるものに對しては其不便不利なる點も手慣るゝと同時に顧みることなく進んで改良を加へんとすること稀なり宜しく各自に改良進歩を心掛けざるべからず自ら用具の製作につきて工夫すること例へば衛生上より或は便利上或は防火上等の點より見て大に改良を加ふべき點少からず自ら工夫すると同時に又社會に於ける工夫發明につきて注意を拂ひよく其取捨をあやまらざるやう注意すべし例へば裁縫用具としてミシン器械の如き洋服裁縫に用ひらるゝは言を俟たざれども之を和服裁縫に應用せば如何なりや實際如何許りの應用をなしつゝあるか或は將來完全に和服裁縫に使用せられ得可きか等よく現代社會進歩の趨勢に鑑み大に注意せざるべからず今日社會の活動は復雜多様にして從つて家庭に於ける主婦のとるべき業務また多端なり此時に當り主婦たる者豈只遅々として衣服にのみ其身を委するを得んやよろしく技術の練磨によりて速かに裁縫し得ざるべからず而してこれ用具の改良にまつ所多大なるを思はざる可らず

設備及器具標本

完全なる教授を施さんとせば必らず之が補助なかる可らず即ち裁縫科に必要なる設備は決して等閑に附す可らず教材各種の標本は實物大のものたるを要す雛形等を使用するは確なる觀念を生徒に入るゝを困難とす

生徒をして玩弄物視せず十分に満足したる心持を以て觀察せしむるやうなさざる可らず又一學級五十人内外の生徒に對して同時に各部分の大體の觀察をなさしむるの必要あれば之を雛形等によらしむるは到底満足なる觀察をなさしむること能はざる可し又標本には作成年月日用尺及價格等を記載して常識養成に資せしむべし部分縫標本は生徒をして教師の説明と同時に觀察し得るやう机一脚につき一個の標本を持たしむるやう用意すべし織物標本は僅小なる布帛にて事足れども其織物の耳あるものを可とす何となれば織物の耳によりて織方の區別をなし易ければなりかつなるべく一幅を備へたらんには服地各種の布幅等の觀念を得易からしむ之が分類も裁縫上必要なるべきやうなすべし例へば大人物小供物用、男女服用、夏服用、冬服用、禮服用、通常服用或は下着用上着用、袴地、帶地、裏地、心地等の分類法によりて排列區分し直接衣服選擇上に資せしめる可らず

其他参考用としての備品は糸標本、原料標本、男女洋服圖古代裝束圖（雛形標本ならば猶可なり）衣服配合色見本染色標本、地質保存比較表、衣服模樣圖（都會の地は之等の必要少かるべきも地方の程度によりては備ふるの必要あり）即ち總模樣、腰模樣、裾模樣、江戸袴模樣、祉模樣等四季に應しての圖模樣等、

掛圖は名稱圖、裁方圖、標附け方圖及縫方部分縫說明圖等教授の際教師は之等の圖を正確に黒板

に書く等は到底時間の許さる所なれば必ず全生徒をして十分觀察せしめ得らるゝだけの大きさの圖を備へざる可らず然れども勿論之のみにて説明するを以て満足せず教師は多く時間を要せざる範圍内に於て圖を書くの要あるなりこれ掛圖は結極死物を免れざるを以てなり裁縫科の如き技術に屬する教材にありては説明に要する時間はなるべく節し生徒をして筆記に時を費さしむるが如きは適當の處置といふ可らずむしろ適當なる教科書を用ゐしむるを可とす若し適當なるものなきに於ては之を謄寫して配附するも敢へて難事に非ざるべし時間の貴ぶべきを知らしめ眞面目に作業せしむるの習慣を得しむるには最良の一教科たる可ければなり

教室、

教室は採光に十分注意せざる可らず若し光線の射入宜しからざる時は視覺を害し姿勢を狂げ其他身體上に及ぼす影響は實に大なり廣さは机の大きさ及び數に應じ廣狭を定むべしあまり廣過ぐる時は後方なる生徒の視力を害する事夥しければ机の大きさ等は大に斟酌せざるべからず生徒用机はあまり高からざるをよしとす手を机の上に置くにゆるやかに置かるゝを度とし布帛を膝上に載せざるやうにし十分に机の下に膝を入れ裁縫品の墜落を防ぐべし机には下に棚を設くるを便利とす綿入等の際針箱等を置くべき用に供す塵埃の止まらざるやう棚とすべし尺度鎌等は机

に附屬するを便利とすべし共同に置く場所より取出す等は大に混雜を來し易ければなり懸針は又大に研究すべきものあり前にし向側にし或は中央に穴を穿ちてなすもありいつれも得失ありまつ比較的宜しかるべきは机の中央部に細き本を倒し置き机の平面と等しくなし使用の場合には之をたてゝ用ふる如くせば可なるべしなほ別に使用の際とり附くるもあり、

教師用机は十分其上にて標本等につきて説明なし得るたけの廣さを要す引出しは便宜によりて附すべし説明に要すべき布帛等隨時取り出すの便あるを可とすべし

生徒用腰掛は大に姿勢に關係あるを以て十分構造に注意すべし腰掛は五寸許りの後がゝりあるを用ふべし

而して机の下に入れらるゝ程の高さとすべしとは綿入れ等の際机を合せ用ふるを以て腰掛の邪魔にならぬやう机の下に入るゝやう作るをよろしとす

其他種々なる備品につきては研究事項多ければ猶進んでこれが改良進歩をはからざるべからず

造花に付ての一端

津田福子先生

造花の技能は一寸習ひ候へば直に出来るか如く見え申候、されど之を造花の本領に適ひ候様にない事はなか／＼困難の業に御座候、造花は縱ひその形のみがなしひれられ候ともそれにて造花の